

犬 BRAF 遺伝子変異検査

移行上皮癌

前立腺癌

犬の移行上皮癌および前立腺癌の診断を補助する遺伝子検査です

犬の移行上皮癌および前立腺癌の腫瘍細胞では BRAF 遺伝子の特定領域（コドン595）に高率で点突然変異（V595E）を有します。したがって本変異が検出されれば、移行上皮癌または前立腺癌であるとの診断を支持する証拠の一つとなりえます。

本検査は変異 V595E をダイレクトシーケンスにて検出します。

● 内容一覧

検査項目	検査材料	保存	検査方法	日数
犬 BRAF 遺伝子 変異検査	組織 尿沈渣 パラフィン切片	冷凍 (パラフィン切片は室温可)	ダイレクトシーケンス法	~8 営業日

備考・留意事項

- ・報告は「陰性（変異を確認せず）」、「陽性」のいずれかとなります
- ・上記腫瘍の変異の保有率は6~7割程度であり、陰性結果をもって移行上皮癌または前立腺癌を否定することはできません。
- ・正常細胞が多く混入した場合、偽陰性となることがあります。
- ・パラフィン切片では、ホルマリン処理の程度により DNA が断片化し、検査ができない場合があることをご了承ください。

参考文献

- ・ Decker B. et al., Mol Cancer Res. 2015 June ; 13(6): 993-1002.
- ・ Mochizuki H, et al. (2015) PLoS ONE 10(6): e0129534. doi:10.1371/journal.pone.0129534
- ・ Mochizuki H, et al. (2015) PLoS ONE 10(12): e0144170. doi:10.1371/journal.pone.0144170